CASBEEあいち

▮評価結果▮

ュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICH



④地域材の活用 ②資源の有効活用

1 () <外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

2.8 %

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

LR-31 地球温暖化への配慮 ②資源の有効活用 Q-22 耐用性・信頼性、Q-23 対応性・更新性 LR-22 非再生性資源の使用量削減 ③敷地内の緑化

Q-31生物環境の保全と創出

中高木の樹冠の水平投影面積+低木・地被等の植栽面積 ×100 外構緑化指数=

敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた

屋上緑化面積+壁面緑化面積 建物緑化指数=

建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 + あいち版: 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

豊田市北部給食センター		欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフ	- :		CASBE	EE-BD_N	C_2016	(v2.1)_ <i>F</i>	AICHI
スコアシート 実施設計段階									
	独自基準	建物	か全体・共	用建物全体	・共用部	据·宿泊部	住居·宿	泊部分	
配慮項目	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み	評価点	評価点	重み	全体
Q 建築物の環境品質					係数			係数	3.1
Q1 室内環境					0.33				2.9
1 音環境			0000	2.6	0.15	00000	00000	-	2.6
1.1 室内騒音レベル			8888	3.0	0.40	88888	338833	-	
1.2 遮音			XXXX	3.0	0.40	XXXX	XXXXX	-	
1 開口部遮音性能			XXX	3.0	0.60	XXXX	XXXX	-	
2 界壁遮音性能			18888	3.0	0.40	188888	XX88X	-	
3 界床遮音性能(軽量衝擊源)			18888	*****	-	188888	XX88X	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			XXX	****		XXXX	⋘⋉	-	
1.3 吸音			****	X 1.0	0.20	XXXXX	XX35X	-	0.4
2 温熱環境 2.1 室温制御			- XXXX	2.1	0.35	₩₩	₩₩	-	2.1
1 室温		 給食エリアは、室内温度25℃以下としている。	COOKS COOKS	3 4.0	0.30	******		1	
2 外皮性能		MIX-77 INCEPTALXES ON FED CO O	8888	3.0	0.25	88888	88888	_	
3 ゾーン別制御性			18888	1.0	0.38	88888	88888	-	
2.2 湿度制御			1888	X 1.0	0.20	10000000	88888	-	
2.3 空調方式			XXX	2.0	0.30	XXXX	****	-	
3 光·視環境			XXX	2.8	0.25	XXXX	XXXXX	-	2.8
3.1 昼光利用			XXX	3.4	0.30	XXXX	XXXXX	-	
1 昼光率			XXX	3.0	0.60	 	XXXX	-	
2 方位別開口		し…ゴニノ」を記書している	XXX	\$\$\$\$\$\$\$\$		IXXXXX	XXXXX	-	
3 昼光利用設備		トップライトを設置している	2200	4.0	0.40	XXXX	XXXXX	-	
3.2 グレア対策 1 屋光制御			2000	2.0 2.0	0.30 1.00	88888	200000	-	
3.3 照度			BXXX	3.0	0.15	188888	***	-	
3.4 照明制御			XXX	3.0	0.15	XXXX	⋘⋘	_	
4 空気質環境			XXXX	4.3	0.25	XXXXX	****	-	4.3
4.1 発生源対策			XXXX	5.0	0.50	*****	****	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を全面的に採用。	8888	5.0	1.00	88888	XXXXX	-	
4.2 換気			XXX	3.3	0.30	XXXX	****	-	
1 換気量			888	3.0	0.33	88888	XXXXX	-	
2 自然換気性能		事務所部分の居室は可能なかぎり、換気の窓を設けている。	8888	3.0	0.33	188888	XXXXX	-	
3 取り入れ外気への配慮		空気取入れ口は汚染源のない方向、及び排気口と6m以上離隔して	XXX	4.0	0.33	XXXX	XXXXX	-	
4.3 運用管理			XXXX	4.0	0.20	XXXXX	XXXXX	-	
1 CO ₂ の監視 2 喫煙の制御		建物全体を禁煙としている。	XXX	3.0	0.50	XXXX	₩₩	-	
Q2 サービス性能		建物主体を宗柱としている。	0000	5.0	0.50	XXXXX	XXXXX	-	3.6
1機能性			DXXXX	3.6	0.40	20000	>>>>>		3.6
1.1 機能性・使いやすさ			8888	3.0	0.40	*****	*****	-	
1 広さ・収納性			8888	3.0	0.33	88888	33883	-	
2 高度情報通信設備対応			18888	3.0	0.33	188888	XXXX	-	
3 バリアフリー計画	独自		XXX	3.0	0.33	****	⋘⋘	-	
1.2 <u>心理性·快適性</u>			XXXX	3.0	0.30	XXXX	ண∞	-	
1 広さ感・景観 (天井高)		事務室の天井高は2.5mとし、外壁面に窓を設けている。	XXX	3.0	0.33	XXXX	₩₩	-	
2 リフレッシュスペース			XXX	3.0	0.33	XXXX	⋘₩	-	
3 内装計画			***	3.0 5.0	0.33	XXXX	*****	-	
1.3 維持管理に配慮した設計		 埃だまりのないディテールや仕上材の選定で衛生面に十分に配慮。	SXXX	5.0	0.50	XXXX	***		
2 維持管理用機能の確保		衛生空間創出のため、十分なサービス機能を確保している。	XXX	5.0	0.50	KXXXX	XXXXX	_	
2 耐用性・信頼性			X88X	3.5	0.31	KXXXX	******	-	3.5
2.1 耐震·免震·制震·制振			8888	3.8	0.48	88888	*****	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		割増を1.25倍としている(入力箇所は重要度係数の入力箇所)別紙	XXX	4.0	0.80	88888	******	-	
2 免震・制震・制振性能			XXX	3.0	0.20	8888	*****	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			XXXX	3.2	0.33	8888	88888	-	
1 躯体材料の耐用年数			18888	3.0	0.23	8888	XXXXX	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	2		XXX	3.0	0.23	*****	XXXXX	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		厨房排気ダクトは、ガルバリウムダクトを採用	XXX	3.0 4.0	0.09	XXXX	XXXX	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔		声房孫気ダクトは、ガルハリウムダクトを採用 主要な用途上位3種の、2種類以上にCを使用	XXX	4.0	0.08	XXXX	XXXX		
6 主要設備機器の更新必要間隔		THE STATE OF THE PARTY OF THE P	XXX	3.0	0.13	XXXX	XXXXX	-	
2.4 信頼性			3366	3.4	0.19	XXXXX	*****		
1 空調・換気設備		空調熱源は、電気とガスに分散している	8888	4.0	0.20	88888	******	-	
2 給排水・衛生設備		節水型器具採用、配管系統を分ける、受水槽に蛇口を設置	B888	4.0	0.20	88888	XXXXX	-	
3 電気設備	2		18888	3.0	0.20	XXXX	***	-	
4 機械·配管支持方法			XXX	3.0	0.20	XXXX	***	-	
5 通信·情報設備			KXXXX	3.0	0.20	KXXXXX	XXXXX		

	対応性・更新性			55565455	3.7	0.29	100000000000000000000000000000000000000	-	3.7
	3.1 空間のゆとり			8888	4.2	0.31	**************************************	-	
	1 階高のゆとり		階高を4.0mにしている。	8888	5.0	0.60	888888888888888888888888888888888888888	-	
	2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	DXXXXXXXXXX	_	
l f	3.2 荷重のゆとり		1階一般調理室の積載荷重を別紙構造②のように設定している。	XXXX	4.0	0.31	KXXXXXXXXXX	_	
l h	3.3 設備の更新性		THE MANAGEMENT OF THE STATE OF	XXXX	3.1	0.38	***************************************		
		(2)			3.0	0.30	XXXXXXXXXXX	-	
	1 空調配管の更新性	(2)	配管ピットを設け、ピット内配管としている。	RXXXX	0		******************************	-	
	2 給排水管の更新性		配官とツトを設け、とツト内配官としている。	8888	4.0	0.17	XXXXXXXXXX	-	
	3 電気配線の更新性			XXXX	3.0	0.11	XXXXXXXXXXX	-	
	4 通信配線の更新性			XXXX	3.0	0.11	XXXXXXXXXXX	-	
	5 設備機器の更新性			KXXXX	3.0	0.22	 	-	
	6 バックアップスペースの確保			RXXXX	3.0	0.22	***************************************	-	
03	室外環境(敷地内)			***	_	0.37		-	2.8
	生物環境の保全と創出	独自③		∞	3.0	0.30	***************************************	-	3.0
				8888	3.0	0.40	XXXXXXXXXXX		3.0
	まちなみ・景観への配慮	独自④		XXXXX			*****		
3,	地域性・アメニティへの配慮			XXXX	2.5	0.30	XXXXXXXXXXX	-	2.5
ll	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		10000000	2.0	0.50	100000000000000000000000000000000000000	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			88888	3.0	0.50	 	-	
LR I	建築物の環境負荷低減性					-		-	3.2
	エネルギー				i -	0.40	-		3.2
	建物外皮の熱負荷抑制		高い断熱性能の外壁を採用している。	8888	5.0	0.09	188888888888		5.0
	自然エネルギー利用	-	食堂と調理室にトップライトをもうけ、自然エネルギーを活用している	8888	4.0	0.03	 		4.0
		 	スエニッ・エエミ ノノノ 口でしかい、日常エイルマーで石用している				***************************************	-	
	設備システムの高効率化			KXXXX	2.6	0.39	XXXXXXXXX		2.6
4,	効率的運用				3.0	0.26	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	3.0
	集合住宅以外の評価	1		<u> </u>	3.0	1.00	XXXXXXXXXXX	-	
	4.1 モニタリング			XXXXX	3.0	0.50	KXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	-	
	4.2 運用管理体制	1		K888X	3.0	0.50	XXXXXXXXXXX	-	
	集合住宅の評価			58888	XXXXX	-	XXXXXXXXXX	-	
	4.1 モニタリング			80000	000000	_	***************************************		
				KXXXX	IXXXXXX	_	XXXXXXXXXXXX	-	
	4.2 運用管理体制			555555	YSSSSS	-	*****	-	
	資源・マテリアル				-	0.30	- !	-	3.2
1,	水資源保護			XXXX	3.0	0.15	 }}}}	-	3.0
	1.1 節水		<u> </u>	X339X	3.0	0.40	XXXXXXXXXX	-	
1 [1.2 雨水利用・雑排水等の利用			\$\$\$	3.0	0.60	XXXXXXXXXX	-	
	1 雨水利用システム導入の有無			XXXX	3.0	0.67	XXXXXXXXXX	_	
1 1	2 雑排水等利用システム導入の有無			KXXXX	3.0	0.33	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	_	
⊢⊸				OCCO			XXXXXXXXXXX		- 0.0
l ^z ,	非再生性資源の使用量削減			XXXXX	3.3	0.63	***************************************	-	3.3
l l	2.1 材料使用量の削減			XXXX	2.0	0.07	XXXXXXXXXXX	-	
l l	2.2 既存建築躯体等の継続使用			1000000	3.0	0.24	100000000000000000000000000000000000000	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	2		₩₩	3.0	0.20	XXXXXXXXXXX	-	
l	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	再生処理土:柱状改良杭、タイル:ポーチ、ビニル床材:前室等、RSVU管:	X888X	5.0	0.20	XXXXXXXXXXXX	-	
l	2.5 持続可能な森林から産出された木材		— 1.nex E	RXXXX	3.0	0.05	XXXXXXXXXX	-	
l	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自		8888	3.0	0.24	XXXXXXXXXX	_	
 2	汚染物質含有材料の使用回避			XXXXX	3.0	0.22	***************************************		3.0
l ۲۰				XXXX	3.0	0.32	~~~~		
I -	3.1 有害物質を含まない材料の使用			0000	4 J.U		∞		
	3.2 フロン・ハロンの回避	ī					*************************************	-	
				XXXX	3.0	0.68		-	
	1 消火剤			XXXX	i - i	0.68		- - -	
	2 発泡剤(断熱材等)				3.0 - 3.0			- - -	
					i - i	0.68		- - - -	
LR3	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒				- 3.0	0.68 - 0.50		- - - -	3.0
	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境	(f)	LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 —	0.68 - 0.50 0.50 0.30		-	
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮	1	LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 - 3.3	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33	-	-	3.3
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮	1	LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 3.0 - 3.3 2.6	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33	-	-	
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 数地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止	1	LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 - 3.3 2.6 3.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33	-	-	3.3
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善	1	LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	-	-	3.3
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 数地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止	1)	LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 - 3.3 2.6 3.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33		-	3.3
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善	(1)	LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	-	-	3.3
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球湿硬化への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減		LCCO2排出率=91%		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.3
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制	独自			3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25		-	3.3
1	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制		十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 5.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25	-	-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	独自			- 3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 5.0 4.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 数地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 5.0 4.0	0.68 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.3
2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インラーの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 周辺環境への配慮 3.1 騒音・振動・悪臭の防止	独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 5.0 4.0 3.2	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-	-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 周辺環境への配慮 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 5.0 4.0 3.2 3.0	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インラーの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 周辺環境への配慮 3.1 騒音・振動・悪臭の防止	独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている	\$2 \$2 \$2 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3 \$3	3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 5.0 4.0 3.2	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 周辺環境への配慮 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 5.0 4.0 3.2 3.0	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温粉環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 別辺境体への配慮 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 4.0 3.2 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.35 0.3		-	3.3
2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 4.0 3.2 3.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33		-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 服音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動 2 振動 3 悪臭 3.2 風書、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている	288 288 288 288 288 288 288 288 288 288	3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 5.0 4.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33		-	3.3
1 2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 数地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 8 乗物処理負荷抑制 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 風音の抑制 3 悪臭 3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制 2 砂塵の抑制	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 4.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.40 0.70 -		-	3.3
2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インラーの負荷抑制 1 雨水排水負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 3 日照阻害の抑制	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 4.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.40 0.70 - 0.30		-	3.3
2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている ゴミ置場のスペース確保等行なっている	999	- 3.0 3.0 - 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.40 0.70 0.30 0.30 0.30		-	3.3
2	2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 敷地外環境 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インラーの負荷抑制 1 雨水排水負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 3 日照阻害の抑制	独自独自	十分な駐車スペースと配送車の一時停車スペースを設けている		3.0 3.0 3.3 2.6 3.0 2.0 3.7 3.0 3.0 4.0 3.2 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.40 0.70 - 0.30		-	3.3

■使用評価マニュアル<mark>CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引</mark>き

■評価ソフト: CASBEE-BD

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項	[目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					3. 3
	LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
2	資源の有効	活用			3. 4
	Q2-2	耐震性·信頼性	3.5	0.09	
	Q2-3	対応性·更新性	3.7	0.09	
	LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
3	③ 敷地内の緑化				3. 0
	Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.11	外構緑化:61.7%/建物緑化:2.8%
4	④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
	Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
	Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

	計画上の配慮事項
総合	・十分な環境配慮のもと安心・安全で高品質、高効率な給食センターを計画し ています。
Q1 室内環境	・事務所用途部分の居室は、外部に面して配置し、自然採光・自然通風が得られる十分な窓を計画しています。 ・工場用途部分の調理室はシュミレーション解析により室内環境を可視化して検証を行っています。
Q2 サービス性能	・事務所用途部分に関しては、男女別の更衣室を設けている。 ・工場用途部分に関しては、工場設備機器の配管スペースを外部に設けることにより、保守点検、将来的な機器更新を行いやすいようにしている。
Q3 室外環境(敷地内)	・2Fのボリュームを抑え、敷地境界線に対してセットバックして建物を配置し、 周辺への圧迫感の低減を図っている。
LR1 エネルギー	・食堂と調理室にトップライトをもうけ、自然エネルギーを活用している。
LR2 資源・マテリアル	・節水型便器、自動水栓を採用し、節水対策を行っている。
LR3 敷地外環境	・田園地帯の自然環境の保全の為、可能な限り緑地帯を設けている。
その他	